



発行者
公認心理師
社会福祉士
堀川重敏

第15巻 第57号

どうして？

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見ご希望などの宛先 horikawassw@gmail.com

問い合わせては
いませんか？

子どもに「なんでそんなことしたの（ ）」
と声を掛けるとき、（ ）には？と！どちらの
マークが入りますか？

☆ 1

きょうのテーマはあなたが「！」マークを付
けているのではないかと書いています。

だとすると子どもは、この声掛けをお叱りの
言葉だと記憶しそうですね。もしかすると、質
問されることと叱られることがセットになっ
ているかも知れません。

★ 2

私が教えた子たちの多くが、質問すると即座
に「わかりません」と応えていました。この言
葉は、考えたけど思いつかないという意味です
が、本当に考えたのでしょうか。私は教え子た
ちに「おぼえてない」「忘れた」「知らない」
の区別を求めていました。私としては覚えてい
て欲しいと思いながらのテストみたいな質問で
したから、「知らない」という答えにはがっか
りしていました。

☆ 3

さて、私たちは子どもがしたことに「なん
で！」と問いただす機会があると思います。本
音としては、あれだけ言ったのになんで分から
ないの…かも知れませんね。でも、子どもから
返って来るのは大概、言いわけです。何とかし

てしかられずに済むように。だから、いつも
「なんで！」と叱られる子は、自然に言いわけ
じょうずになってしまいそうです。
ではどう声掛けしたらよいのでしょうか。

★ 4

お勧めしたいのは「そうすることによって、
どうしたかった（目標）のか」つまり、理由で
はなく動機を尋ねる尋ね方です。

しっかり考えていたら、その行動を取らなか
ったでしょう。その場で初めて「しまった！」
と思って言いわけを考えるでしょうからあなた
は子どもに、追加の質問ができると思うのです。
「いつ、そう思ったのか」尋ねるのです。

ウソでなければ思い出せるから、ここに来た
時かな？それを見た時？と助け舟を出しながら
順にさかのぼって尋ねられるし、面白そうだっ
たから？いじわるしようと思ったから？と動機
を話させることにつながるかも知れません。

その動機について「それならこうしたら良か
ったね」と、望ましい行動を教え続けると、行
動が変わる可能性が高くなると思いますよ。

いつ、そう思ったの？

